

東由利村報

No. 109 1966・8・1

発行
東由利村役場
編集
畑山伝二郎
印刷
KK本間印刷所

ていた。
みんなが、自分のために、
献血に協力しましょう。
わが村の年間献血目標は20
0本です。

在京

東由利会について

東京都内在住の村民によつて結成されている東由利会の事務局を担当しておりました長谷山治弥氏は、今春八丈島へ赴任しましたので、そのあとを引ついで下さった島山隆一さんから次のようなおたよりがありました。

○

…東由利会のことですが、小野君の考えておられますことと、高橋氏の計画には差が多いので目下その調整中です。

何分にも在京者は3千人近いものがあり、年令のちがひも大きいので、考えていることもそれぞれちがひがありまして全部まとめるわけにも行かないのが現状であります。それにたしかな組織もなく、本部には通信費もない有様です。

目下のところ、高橋幹事長と話し合つて事を進めております。

去る37年には発足3年目にあたりましたので、目黒に集めた時には200人以上も集まりましたが、その後は色々計画を進めてはおりますが、いざ実行となりますと容易に出来ぬ次第でありまして、今年こそは何かあとに残るような事をやりたいと考えています

それからこの仕事は私より若い人達の中で都合のよい人がおればとさがしているところでもあります。

その外、故郷の村ともよく連絡をとらなければならないとそのことも考えております

○

村からおねがい

この会は村にとつても大事な会ですからどうしたらよい会になるかご意見をおよせ下さるようたのみます。

納税完納記念式

本年5月31日、村税・県税・国税のすべてを完納した我が村では、この「おおいなる日」を記念するため、7月28日、多年納税のために努力をつづけて来た部落長を中心に、税務署長・県地方課長など村外関係者・村内の指導層から130余名をまねいて記念式を挙行した。

最初納税功労者13名を表彰し。村長より、多年にわた

り納税完納のため努力をつづけて来た全村民に対し深く感謝し、納税の完納により、始めて全村民が行政に総参加したという事実には大きな意味がある。この事実を深く心にとめて「自分による自分のための自分の村」をきづき上げる出発点にするようにねがうとのあいさつあり、議長よりは「この成果を3年つづけてもらいたい」との希望。県地

方課長は、長年、このこと一筋に苦勞して来られただけに「行政の根本は税金を完納すること」「正直者に馬鹿を見せないためにもみんなが完納」この完納の根底があつてこそその当村の団結と躍進があるのだ。と力強くのべられた。

ついで全村民に記念品をくばり、祝宴にうつつた。

なお、本県の完納町村は現在、井川、東由利、岩城、太田、大瀧の5町村である。



青少年保護

地区別懇談会

この会は、青少年育成について知事自らが各地区に出向いて親しく市町村長その他直接関係者の意見を聞くためのもので、7月14日由利総合庁舎で開かれた。

席上我が村長は「青少年育成の問題は何よりも重大であり、最早論議の時ではなく即時実行の段階である。方法はこの問題は切り離して処理す

べきではなく、行政の中に取り入れて総合的に扱うべきである。指導者は一人の非行者も出さない決意をもって、青少年の中に飛び込み、必らず非行を善道に立ちかえらせる信念をもって当らなければならない」と体験の事実を語り知事以下の傾聴を集めた。

献血推進協議会発足

7月26日、東由利村献血推進協議会は、役場・学校・医師・建設関係・交通・消防そ

の他各種団体の代表者22名をもって結成された。

献血はひと事ではない

血が間に合はなくて手術の出来ない病人が、秋田県内には現在450人も居るそうだし、由利組合病院などでも困っているようだ。

病人だけでなく交通事故などで、一時に多量の血を必要とすることがいつ誰におこらないとも限らない。現にこの日の夕方西の浜では大型トラックが、下のたんぼに落ち

全国地すべり技術検討会

全国の技術者が参加

6月29日、本村沼蛇喰（じやばみ）地区で、林野庁の技官や大学教授など約100人が集まって、地すべり事業の技術検討会が行われた。

現場は杉森川にそって沼部落の向いがわ20haで、明治27年の酒田地震より活動を始め、現在は長さ550m・巾450mにわたって山林が、年間2mほどずつ川に向かって地すべりを起しているものである。

これがため、杉森川はうめられ、道路はこわされ・下流の耕地は坩土にうめられて大きな被害が出ているので、37年の夏に林野庁の地すべり事業指定地に選ばれ、40年度から5カ年計画で工事が進められている。

その工法は地すべりの山地

に金属製の型わくによる大きな井戸（内径3.5m深さ20m）を掘り、まわりの地下水を集めて川へ抜いて地すべりを防ぐもので、東北6県でも初めての工法、総工費7,600万円年間約1,600万円の工事費で各1本ずつの井戸とこれに付帯する水ぬき施設をつくることになっており今年が2本目である。

この日集ったのは、林野庁治山治水課の市川監査班長ら全国の営林署関係者及び、新潟大学の丸山岩三・岩手大学の武田進平両林学博士ら学術関係者などで、今回は現地を視察しただけで、本格的な検討会や、発表会は、30日男鹿市で開かれるという。



少女のたより 村にはこういう 人もある

青少年の非行が、お互の家庭から国をあげての大問題となつている時、我が村にはこのような心うるわしい人もいます。これは過日村長あてに寄せられた浜松局の消印のある手紙である。

○
謹啓、だいぶん暑くなつて参りましたが、皆様にはお変わりなく毎日任務にたづさわつておられることと思います。

私事当地に働きに来てまだ日も浅いものでありますが、

今月始めてささやかな勤労に対する報酬を頂きまして喜んでおるものです。上級に進むというまでには行きませんが、両親の暖い愛情と先生のご指導のお蔭で無事中学を終えさせて頂いてから3年になりました。当地に出て参りましたのは最近ですが、どこに居ても学校にも行けないで居る子ども達が多いものです。学校にだけは来るには来たが他人が旅行に行く時に着物の関係で行けないでいる子もいることでしょう。

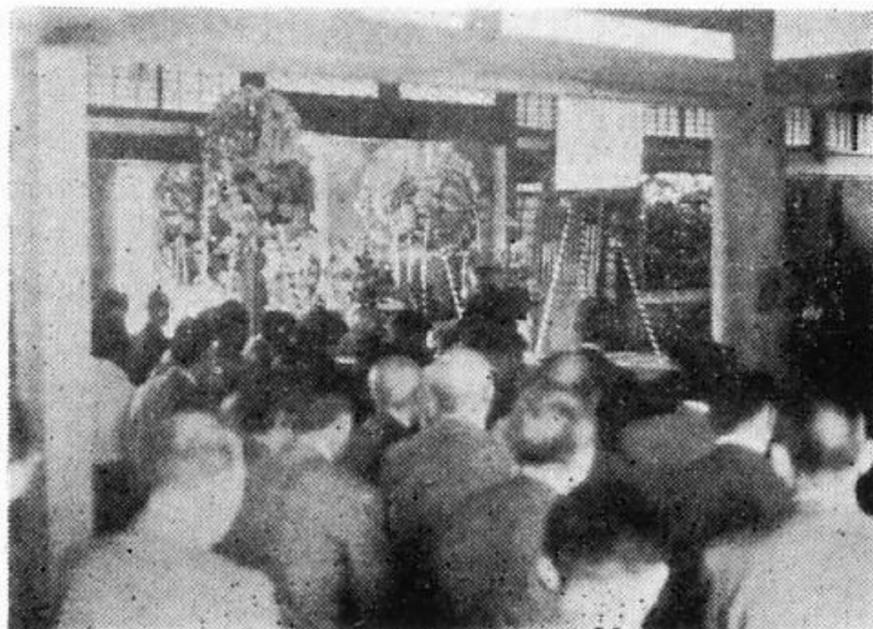
私は幸にして貧乏ながら人なみに学校にも通い、貧しいながら他人の後について修学

旅行にも行つて楽しい思い出の一つを持つ事が出来ました事、本当にまわりの人々に大いに感謝したい気持ちです。

田舎では貧・富に大差はないようですが、それでもやはり貧しい人は貧しいでしょう

この便りに本当におつかいでお恥かしいところですが、500円同封しましたので、もし役立つことがありましたらどうぞ使つて下さい。500円位

どうしようもない金ですが、エンピツなり、ノートなり少しでも教育方面に役立つなら幸いです。自分も女の子です故、着かざりもしたいし、まだ少し勉強したい事もありますので多くは送りかねますが毎月500円や千円位づつなら送りたいと思つておりますそれではよろしくお願い致します。 一少女より



小杉喜五郎氏の 農協葬

6月7日、農業倉庫内でくんじよう作業中あやまつて劇薬クロールピクリンをかぶり由利組合病院で手当中、8日朝3時頃になくられた小松喜五郎さんの農協葬は9日午後3時から泉秀寺で行われた葬儀には農協県中央会、県経済連代表者を始め、小松さんの突然の死をいたむ農協組合員、一般村民の会葬者300名をこえる盛儀であつた。

青少年問題協議会 委員会

41年度改選後第1回の青少年問題協議会委員会は、7月12日役場で開かれた。

本年度の重点事業として

1 子どもの安全指導

○交通事故防止

小中学校における交通規則の学習と実践指導
青少年の無免許運転をしない指導

道路で遊ばない。遊ばせない運動の徹底

○水による事故防止

【写真は組合長の弔辞】

水泳場の設備、管理
水難防止講習

○危険な遊びをしない
火遊び、花火など

2 子ども会の育成

○学校が教育の延長として指導する

○PTAは諸団体の中核となつて指導にあたり、諸団体は協力する

○子ども会リーダー講習を7地区で行う。



7月10日行われた青年会家政部セミ。午前大沼優子さんの生花、午後佐藤先生の料理

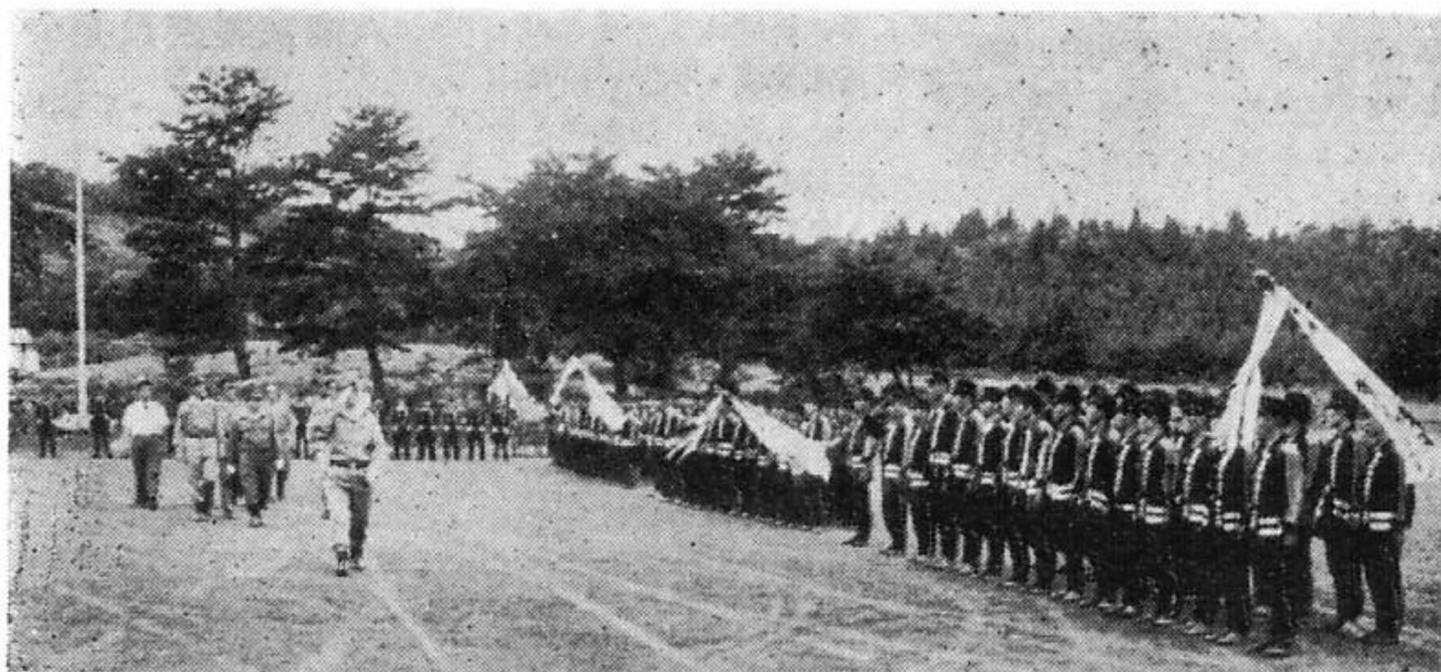
消防訓練大会

7月27日午前9時から、昭和41年度消防訓練大会は台山グラウンドで行なわれた。

久しぶりのツユ上りの好天にめぐまれ、各分団とも気力あふれる猛訓練を行なった。成績順位はつぎのとおりである。

- 総合第1位 第7分団
- 第2位 第5分団
- 第3位 第10分団
- 通常点検及び小隊訓練
- 第1位 第7分団

- 〃 2位 第10分団
- 〃 3位 第5分団
- ポンプ操法
- 第1位 第7分団
- 〃 2位 第4分団
- 〃 3位 第5分団
- 本荘市由利郡支部長表彰
- 第7分団
- 第5分団
- 第10分団



- 出で発つ。(午前3時老方をたつ)
- 空遠く海広らなる犬吠のみさきの岩に波くだけ居り (犬吠岬にて)
- 雨にけむる房総の山はなれ来て久里浜にわれらが船つきにけり (観光船)
- 霧雨にふかくねむれる城ヶ嶋の岩はぬれつつ黒く腹這ふ (城ヶ嶋)
- 旅終えてわれら帰らん朝明けの東京の街に強く雨降る (午前5時東京を発つ)
- 雲流る栗子の峠越え行けば山沢深く人の住み居り 栗子峠は福島山形の県境

大切にしよう

川はみんなの

母である

「山美しく水清らかに…」これは私たち山村に住むものにとって、何物にもかえがたい宝でありほこりである。

川はみんなのものである。川はみんなの母である。歴史以前の昔からみんなを育てて来たのである。

「やわらかに柳青める北上の岸べ目に見ゆ泣けとごとくに」啄木ならずとも、村をはなれて思う川の姿は肉親のそれにもまさるものがある。

夏休みが来た。お盆が近づいた。

毎年のように、子どもたちがうったえる。「底はセトカケガラスカケ・上はきたないゴミだけ」と。

さわやかな気持でおよがせたい。お盆前のゴミは、川に流さず焼きたいものだ。

象潟町の長岡のように、みんなが申し合せてぜったい川に物をすてないところもある村民一人一人が進んで川を大切にするようにいたしましょう。

8月「家庭の日」

8月21日の家庭の日には、つぎのようなこともやって見たらどうでしょう。

- 夏休みの反省
- 郷土の研究

婦人会幹部講習会

この会は村婦人会の最大の行事で1泊2日(7月15~16日)寝食を共にして親睦をはかりながら真けんな研修をするもので、昨年について2回目である。

今年の会場は大琴部落会館で参加者は60余名、村長の激励のあいさつについて、本荘署交通係斎藤部長の「最近の交通事故の傾向と防止のための婦人の役割」という実例に

もとづく講演あり、折柄来村の県農林部長(随員3名)よりはげましのことばがあった。夜は映画を見、当面する諸問頭について懇談。

翌16日は①出稼ぎ②青少年育成③選挙の浄化④物価問題の分科会。渡辺隆社会教育主事の講話をきき、合間にレクリエーションを交えて、面白く有意義に午後2時終了した



自賠責保険の改正実施

7月1日から

7月1日から、自動車賠償保険法の一部がつぎのとおり改正になりました。

記

1、自動車損害責任保険支払限度額の引き上げ

- 新支払限度額
- 死亡による損害
- 1人につき 150万円
- 〃 仮渡金 50〃
- 傷害による損害

- 1人につき 50万円
- 〃 仮渡金 イ、10〃
- ロ、5〃
- ハ、1〃

後遺傷害による損害

1人につき7万~150万円

2、原動機自転車の強制保険実施

これまで、強制保険の対象外であったモーターバイクも、その性能向上と台数増加のために、8月1日以降保険が実施されることになりました

但し実施の順序は、8月1日から保険法第3条の賠償責任を原動機自転車にも適用し、同時に強制保険の任意契約引受開始、10月1日から強制実施となり、保険証明書を携行しなければ運行出来ない。

保険料は一輛2,540円

8月1日から任意契約の受付準備中です。不明の点は車検場事務局までご連絡ください。(自家用車協会)

校長会・教育委員会の研修旅行

短歌六首 住吉小、山田礼智

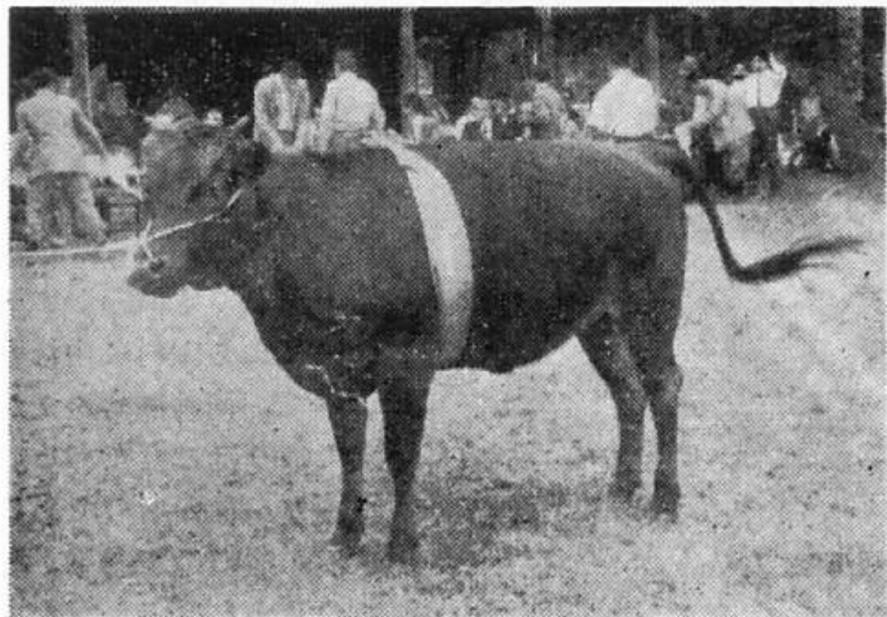
○親しみて旅行くは楽し朝いまだ暗きにわれらのバスは

畜産共進会

第11回東由利村畜産共進会は、7月1日台山馬検場で開催された。出陳頭数は和牛18頭、乳牛28頭で審査の結果はつぎのとおりである。

-
- 和牛、15カ月～24カ月
- 1等賞 時雨山 佐藤 源吉
- 2" 袖山 鈴木善一郎
- 3" 田代 渡辺 忠
- " 久保 工藤辰五郎
- 和牛、24カ月以上
- 1等賞 新田 畑山喜一郎
- 2" 須郷田 小野 富也
- " 板戸 大塚菊次郎
- 3" 田代 渡辺 富也

- 3等賞 須郷田 小松 運蔵
- ジャージー 8カ月～22カ月
- 1等賞 宮ノ前 阿部 豊美
- " 舟木 高橋 三蔵
- 2等賞 田代 佐々木丑蔵
- " 葎沢 佐藤 与吉
- " 湯出野 小松 兼治
- " 下吹 遠藤 吉蔵
- ジャージー 22カ月以上
- 1等賞 揚出野長谷山政太郎
- 2" 新田 伊東庄一郎
- 3" " 遠藤 道吉
- ホルスタイン 8カ月以上
- 1等賞 小倉 阿部 松雄
- 2等賞 舟木大庭喜右工門
- 3" 下小屋 佐藤 八郎



【1等賞 畑山喜一郎氏 和牛】

第3回由利畜産共進会

全部上位入賞

7月13日本荘市での第3回由利畜産共進会に、本村からは和牛5頭、乳牛5頭が出陳されたが全部2等以上に入賞した。

- 和牛
- 優等賞 新田 畑山喜一郎
- 1" 時雨山 佐藤 源吉
- " 須郷田 小野 富也
- 2" 田代 渡辺 忠
- " 袖山 鈴木善一郎
- ジャージー
- 1等賞 下吹 畑山 清一
- 2" 宮ノ前 阿部 豊美
- " 新田 伊東庄一郎
- " 新田 遠藤 道吉
- " 葎沢 佐藤 与吉

畜産だより

定期家畜市場について

9月1日に今年度第3回目

の定期家畜市場(台山)が開催されます。前回の成績は別掲の通りであり、市場に上げた方が生産者に有利な価格で取りひきされるようになります。尚9月市場の申込は8月20日頃まで農協で取りまとめますので、母牛の登録点数を記入の上期日まで確実に申込むようお願いします

豚の丹毒病発生について

最近、仁賀保方面で豚の丹毒病が発生しているようです。飼育豚に異常(食欲減退、発疹、体温上昇、軟便下痢等)が見られたら直ちに獣医師の診断を受けるようにして下さい。豚丹毒は法定伝染病であり生後6カ月ぐらまでの豚に特にかかりやすく、夏期の高熱時は一層の注意が必要ということです。

校地整備

奉仕作業

玉米中学校PTA

玉米中学校PTAでは、中学校創立20周年記念行事として校地整備のため勤労奉仕作業を実施することになった。

作業は学校の周囲に残っている8カ所の木立やヤブを整理して、林間教室・花だん・理科用植物園・休けい所のベンチを備えつけ、運動場その他の施設を整備するもので、作業人員見積り300人の予定で7月30日から作業を開始する。

慰霊祭

慰霊記念碑除幕式

例年どおり村で執行している、日清日露以降の戦没者(311柱)の慰霊祭・並びにかねて遺族会が企画し着工中の慰霊記念碑の除幕式を、来る8月25日午前10時台山、グラウンドの現場に於て仏式により実施することになった。

村を明るく美しく 名入門灯普及運動

ただいま東由利村防犯協会では、関係諸団体と提携して、自動点滅機付名入螢光灯で表札がわりの門灯取付普及運動を実施しております。

村を明るく美しくすると共に、特に防犯の見地から進んでご協力下さるようお願いいたします。

取付についてのご相談は東北電力下郷出張所へ

取付運動期間

41年7月21日～10月24日



【7月14日ヘルスセンターでの蔵老人会】

各種資金の申込を

受付けております

昭和41年度の自作農維持資金・農地等取得資金などの借入申込みを受付けております。借入希望者またはくわしく内容を知りたい方は農業委員会に問い合せて下さい。

—農業委員会—

人権擁護委員発令

6月15日付をもって法務大臣より次のとおり委嘱発令がなされました。

小野広志

人権擁護委員を委嘱する。

昭和41年6月15日

法務大臣 石井光次郎

定期家畜市場

7月2日

	出場頭数	最高	最低	平均
雄	30	89,100	56,300	71,470
雌	29	130,300	65,100	83,155
計	59			77,213

総売上額 4,555,600円

蔵老人会

7月3日、蔵老人会では「明るい家庭と老人」についての学習会を永慶保育園で開いた。この会は創意にもとづく面白いしくみで、老人会員の外に、主婦・若妻の中から各部落の代表者の参加を求めて開いたもので、各々の立場から卒直な意見が出て、みんなの協力によって明るい家庭をつくらうというムードがきわめて自然に盛り上った。